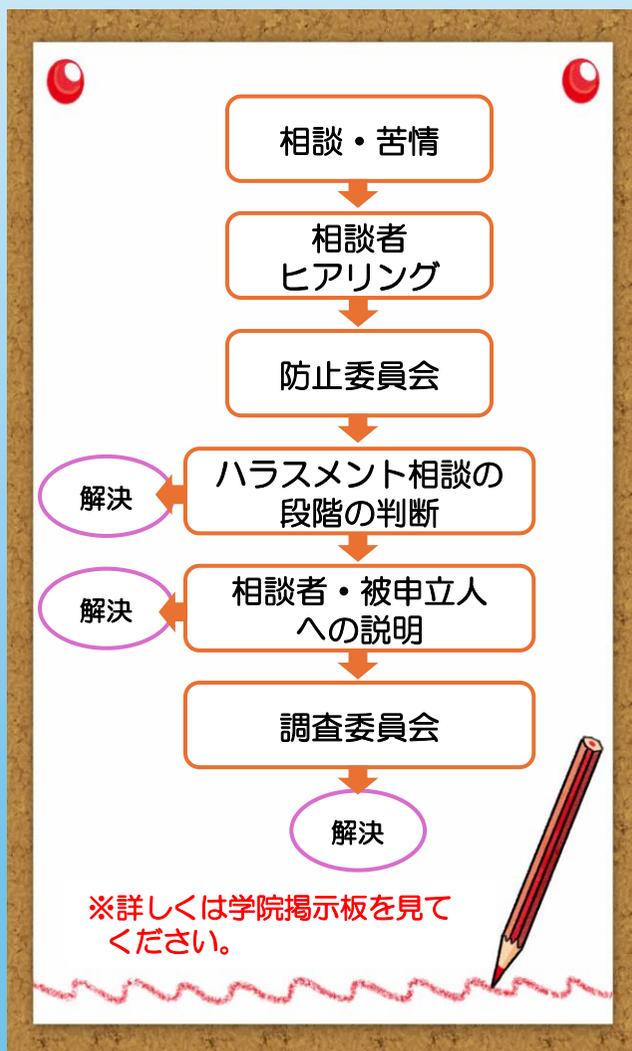


ハラスメント防止委員会

ハラスメント防止委員会では、相談員がハラスメントを受けた本人から相談を受け、助言・調査などの必要な対応をします。



ひとりで悩まないで、相談に来てください。

相談員は、学科にかかわらず、相談者と一緒に状況や気持ちの整理をし、問題の解決に向けて考えていきます。その際、相談者の秘密を厳守し、不利益が発生しないよう十分な配慮をします。

【相談窓口】

相談の申込みは、口頭、電話、手紙、メールのいずれでも可能です。



理学療法学科：松本 晋輔

作業療法学科：森川 芳彦

事務室：佐藤 友美

事務室：長江 真理子

◇連絡先は学院掲示板を見てください。

STOP!



ハラスメント

ハラスメントのない
学生生活を!



専門学校川崎リハビリテーション学院
ハラスメント防止委員会

ハラスメントは、**重大な人権侵害**に当たります！

自分より弱い立場の人に対する配慮を欠かしてはいけません。他者の人権を侵害するような言動に対してハラスメントを許さないという意識を持ちましょう。

パワー・ハラスメント アカデミック・ハラスメント

職務遂行上及び教育・研究上の優位な立場を利用した不当な言動により、相手に苦痛や不利益を与えること。

- 指導をしない。必要な情報を与えない。挨拶を無視する。
- 大声、怒鳴り声で話したり、指導する。
- 「実習をする資格がない」「この仕事に向いていない」「やる気がないのであれば帰れ」などと言う。
- 他の実習生と比較するような発言や、実習生の能力の低さを必要以上に指摘する。
- 「不当な課題達成」を強要する。
- 不当に低い評価をしたり、単位を与えない。
- 実習と無関係な雑用を強いる
- 実習時間外や実習施設外での歓送迎会や勉強会への参加を強要するなど

ハラスメントとは？

他者を不快にさせたり、尊厳を傷つけたり、不利益や脅威を与えたりする発言、行動を指します。



セクシュアル・ハラスメント

性的な言動により相手に苦痛や不利益を与えること。

- 高頻度で電話・メールを送る。
- 個人的な話をしつこく聞く。
- 実習の内容とは関係のない性的な内容の話をする。
- 不必要な身体への接触をする。身体を眺め回す。
- 「スタイルいいね」と言ったり、スリーサイズを聞く。
- 「胸が大きい（小さい）」など身体に関することを言ったり、個人的な性体験を聞いたりする。
- しつこく食事や飲酒に誘う。自宅までの送迎を強要する。
- 女性（男性）であるという理由だけで、不当に評価するなど

ハラスメントを受けたと思ったら

- ◇勇気を持って「やめてください」「困ります」などと相手に気持ちを伝えましょう。
- ◇信頼できる友人や教員に相談しましょう。
- ◇疑問に思うこと、解決できないことがあれば、ハラスメント相談員に相談しましょう。



※相談したことにより学生に不利益が生じることがないように対処します。

ハラスメントにあっている人を見たらどうする？

- ◇不快な場面を見たら、可能であればその場で注意しましょう。
- ◇見て見ぬ振りをせず助けてあげましょう。
- ◇相談員に相談するように勧めてあげましょう。

